

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

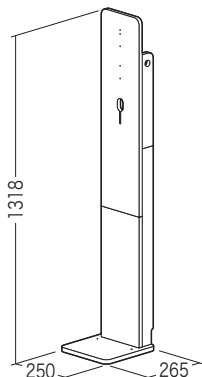
★用意していただくもの……プラスドライバー、
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください)

完成図

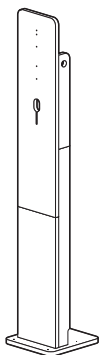
※本製品は組立て方法によって下図の様に
2通りの使い方ができます。
用途に合わせて組立ててください。

※前板の位置によって、組立て手順③が異なります。

前板を奥にする場合

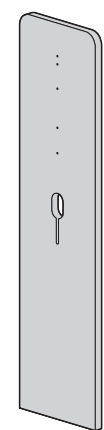


前板を手前にする場合



総耐荷重 4kg

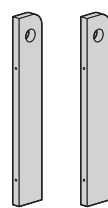
組立て部品



①前板(大)
×1枚



②前板(小)
×1枚



④補強板(小)
×2枚



③底板
×1枚



⑤補強板
(大・左)
×1枚



⑥補強板
(大・右)
×1枚



⑦フック
×1個



⑧ダボ
×6本



⑨丸ナット
×4個



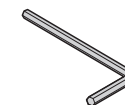
⑩フェルト
×4枚



⑪クッション×4枚
※うち2枚は予備

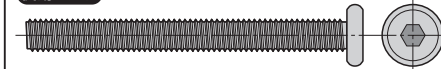


⑫シール×2枚



⑬六角レンチ
×1個

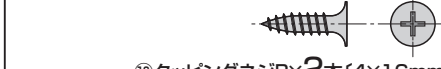
使用ボルト



⑭ボルト×4本(M6×60mm)



⑮タッピングネジA×12本(5×57mm)



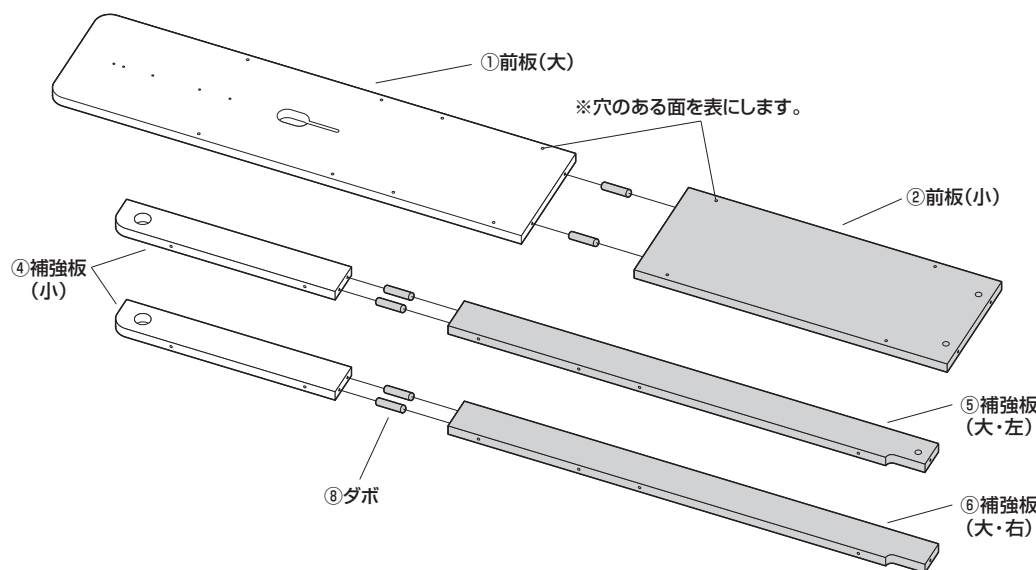
⑯タッピングネジB×2本(4×16mm)



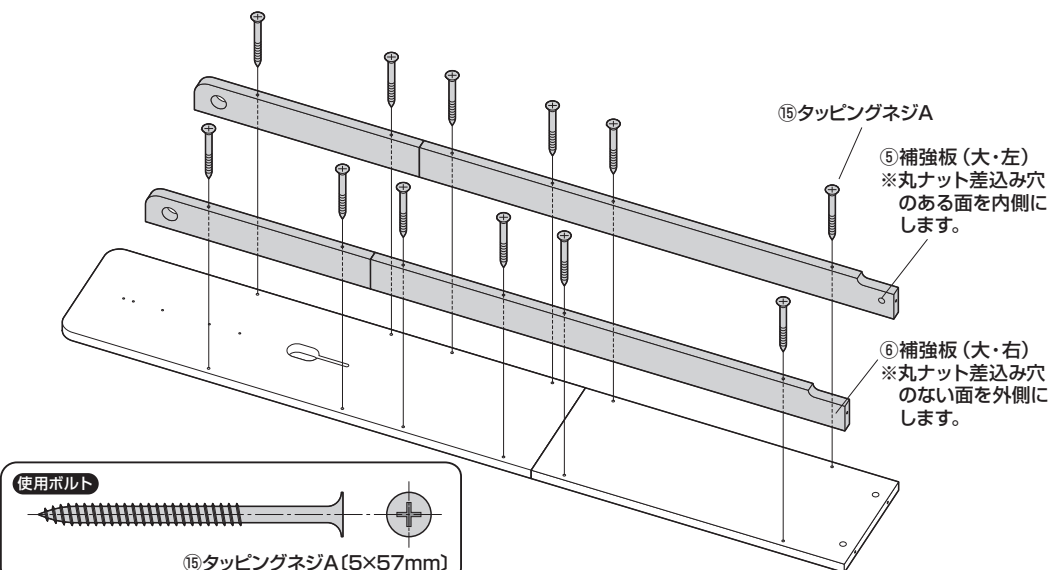
⑰タッピングネジC×2本(4×12mm)

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(200-STAND1BKMなど)と上記の部品番号(①～⑰)と部品名(丸ナットなど)をお知らせください。

1 前板と補強板をそれぞれ繋ぎます。



2 前板に補強板を取付けます。



3 底板を取付けます。

①前板、補強板に丸ナットを差し込みます。

②底板を取付けます。

＜前板を奥にする場合＞

下図の位置の穴を使用します。

＜横から見た図＞

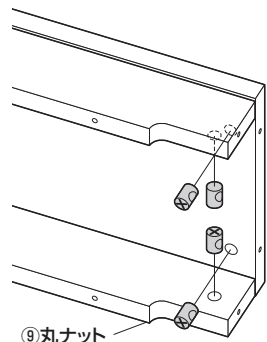
上
小さい 大きい

＜前板を手前にする場合＞

下図の位置の穴を使用します。

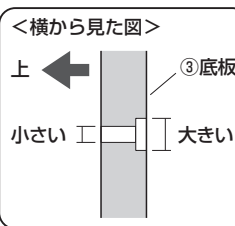
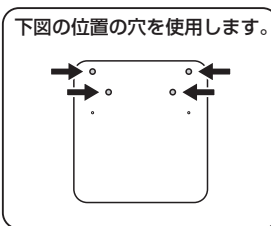
＜横から見た図＞

上
小さい 大きい



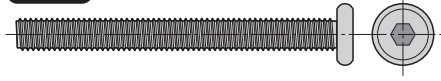
⑨丸ナット

ドライバーなどで側面の穴に丸ナットの溝を合わせます。



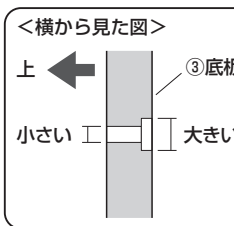
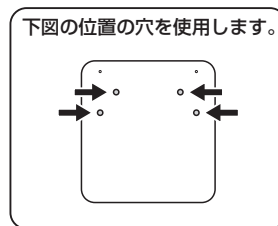
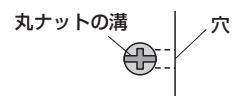
③底板
⑭ボルト

使用ボルト



⑭ボルト(M6×60mm)

ドライバーなどで側面の穴に丸ナットの溝を合わせます。

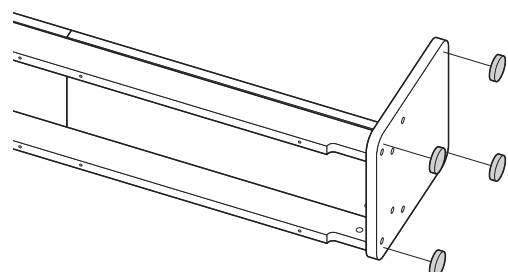


③底板
⑭ボルト

③底板

4 底板にフェルトを貼付けます。

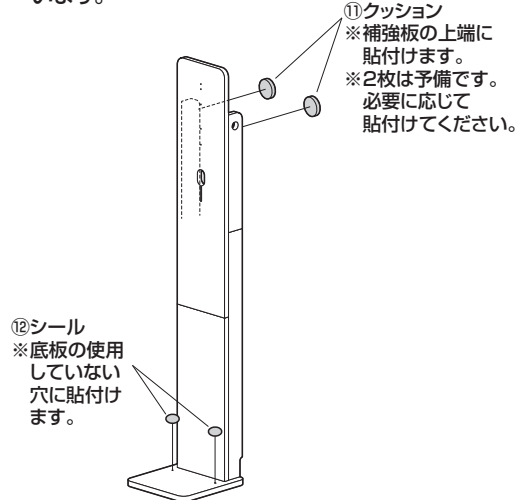
※下図は前板を奥にした場合のイラストになっています。



⑩フェルト
※四隅に貼付けます。

5 本体を起こしてクッションとシールを貼付けて、完成です。

※下図は前板を奥にした場合のイラストになっています。



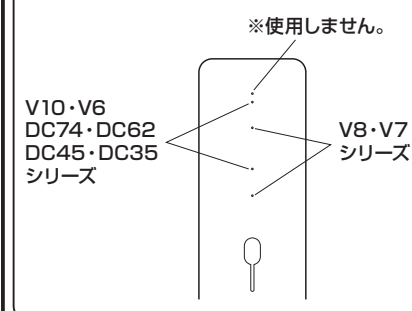
⑪クッション
※補強板の上端に貼付けます。
※2枚は予備です。必要に応じて貼付けてください。

⑫シール
※底板の使用していない穴に貼付けます。

クリーナー用ブラケット・フックの取付け方法

＜ダイソン製品を取付ける場合＞

＜前から見た図＞
機種に合わせて下記の穴を使用してください。



V10・V6
DC74・DC62
DC45・DC35
シリーズ

V8・V7
シリーズ

※使用しません。

ダイソン製品のブラケット
(本製品には付属していません。
ダイソンの製品に付属のものを
ご利用ください)

使用ボルト

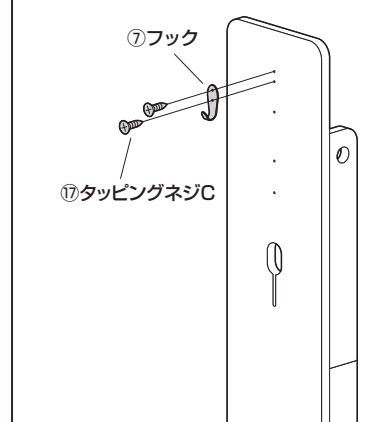


⑯タッピングネジB(4×16mm)

⑯タッピングネジB

※右図は前板を奥にした場合のイラストになっています。

＜汎用クリーナーを取付ける場合＞



⑦フック
⑰タッピングネジC

使用ボルト



⑰タッピングネジC(4×12mm)